

電・オール電化

に加え、国の市場拡大が上、ネット通し。12年度館の上限額がした。販売会

台頭

次ぎ参入した。訪の実際価格と比割も安い価格で販いるケースもある。通販の参入は12みぞうだ。通販会工事を受託してい

東海で、通販番組を買い取ってテ販を開始する。ルアタイムの放「一回あたり1

通販事業部長」という集客力がテレビ通販の武器だ。

ただ、「現地調査に訪問しても、設置条件が悪くて販売出来ない場合も少なくないため、契約率は訪問販売よりも低い」（工事を受託している企業という指摘もある。11月に参入したジャパネットたかたは、長崎県で試験的に放映したものの、結果は計画を下回った。

テレビ通販の成功モデルは確立されていないものの、実際価格に大きな影響を与えるだけに動向から目が離せない。

ネットの存在感高まる テレビ通販と並び、販売価格の下落を加速させているのがネット通販だ。一般的に、ネット通販の価格は訪問販売と比べて2〜3割安い。

効率的集客が不可欠に

住宅メーカーと同行営業も

販売価格の下落が予想目立ち始めた。

代表的なサイトには、「最安値発掘隊」「とくとくショップ」「エコの輪」「省エネット」などがある。11年後半は、各サイトが月間50〜80件程度を恒常的に受注。受注件数は平均すると前年同月比3〜5倍程度で推移しており、販売チャネルとしての存在感は一層高まっていきぞうだ。

共同購入サイトはアメリカでは実績のある販売手法。知名度の高い大手ネット通販会社がサービスを開始した場合、有力な販売チャネルになる可能性もある。

共同購入サイトはアメリカでは実績のある販売手法。知名度の高い大手ネット通販会社がサービスを開始した場合、有力な販売チャネルになる可能性もある。

投資利回り試算「ソーラーマスター」

ソーラーエネルギーソリューションズ



インターネットに接続したノートパソコンを使い、航空写真や屋根図面から太陽光発電設置の見積もりを作成できる「ソーラーマスター」。販売元のソーラーエナジーンソリューションズ（本社東京、森上寿生社長）は12月26日、集合住宅用の見積もり試算システムを発売した。

設置費用と売電収入から投資利回りを試算できる。太陽光発電を資産運用の一环と位置付けた。節税効果も表示し、設置後の費用対効果が一目瞭然なことから、アパートオーナーに対して具体的な提案が可能になる。

設置するパネルを選択してから、航空写真の画面上で屋根の設置面を粹取りすると、最も効率的に配置した場合の搭載枚数と予想発電量を自動的に導き出す。図面を基に試算することも可能だ。

集合住宅用の見積もりに対応

自家消費量と売電量を自動計算する。住宅用と同様、

国や地方自治体の補助金情報や、地域ごとの日照量が登録されている。住宅用ソーラーマスターを契約したユーザーが、追加料金1万2000円を払うと利用できる。1月中はキャンペーンで、既存ユーザーは無料で使える。今年2〜3月を自途に、公共産業用に対応したシステムも発表する予定。

同社が運営している太陽光発電や省エネ住宅に関する情報サイト「スマートハウス」では、1月下旬から、消費者から寄せられた見積もり依頼をソーラーマスターの契約店に紹介するサービスを開始する。

どが一部工事を内製化した。3社とも、12年中に完全自社施工体制を構築する計画だ。

「工事費用を外注と比べて最大50%程度削減できる」（谷口コーポレーション河内社長）という。価格競争で生き残るには自社工事が不可欠になりぞうだ。

設置価格50万円以下に?

設置価格の動向に注目。国が実施している補助金

12年度は、補助金を申請する際の上限額が今年

の詳細は明らかになっていないものの、太陽光発電協会に加盟している販売会社によると、「協会内では、12年度の上限価格が1.5〜50万円以下になるとの見方も出ている」とい

